

令和4年度（2022年度）施政方針

三 島 市

令和4年度三島市一般会計当初予算案をはじめとします諸議案のご審議をお願いするにあたりまして、私の市政運営に対する所信の一端を申し上げますとともに、その大要についてご説明させていただき、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、私が初めて市民の皆様から負託を受けましてから、11年が経過し、令和4年度は3期目の集大成の年となるわけですが、ここ2年余りは、三島市のみならず全世界が新型コロナウイルス感染症に振り回されていると言っても過言ではない状況となっております。

史上初めて1年延期して実施された、東京2020オリンピック・パラリンピックにつきましては、幸いなことに県東部で開催された自転車競技は有観客となりましたが、東京都をはじめ、大多数の会場で無観客での開催となるなど、新型コロナウイルス感染症の影響を象徴する大会となりました。

2019年のラグビーワールドカップの際には、全国各地の会場に数多くの海外からの観戦客が訪れましたことから、それを上回るインバウンドの掘り起こしとなり、更なる観光大国としての足掛かりになるだろう、との期待は肩透かしとなってしまいました。

三島市の令和3年度予算におきましては「ポストコロナ」をスローガンに掲げましたが、オミクロン株による第6波の状況を見ておきますと、市民の皆様のご協力をいただき、3回目のワクチン接種を速やかに進めるなど、感染拡大防止を図りつつ、終息までの間は「withコロナ」としていかに折り合いをつけていくか、という点が重要と存じます。

そのためには、令和3年度からスタートしております「第5次三島市総合計画」について「withコロナ」を意識しながら着実に推進していくことが必要でありますことから、就任当初から掲げておりました、「ガーデンシティみしま」「スマートウエルネスみしま」「コミュニティづくり」の3つの柱をベースとする中で、市民生活や社会経済活動の「レジリエンス」を発揮するとともに、

魅力あふれる「セレンディピティ」なまちづくりを目指す、といった新たな視点、価値観も有機的に結び付けていくことが肝要であると存じております。

また、新たな時代に対応するためには、スマート市役所として「デジタル・トランスフォーメーション」を強力に推し進めていくことが必要不可欠であり、国が掲げるデジタル田園都市国家構想に向けた様々な支援制度の活用も視野に入れながら、これからのSociety 5.0の実現、SDGsとリンクした事業展開を進めてまいります。

今年のNHKの大河ドラマは、鎌倉幕府の誕生と、その後を描いたものであり「旗揚げ」の地として本市も脚光を浴びているところがございますが、源頼朝が苦境から、したたかに、そしてしなやかに回復し地位を昇り詰めていく様は、まさに「レジリエンス」の発揮であり、三島市といたしましても、この故事にあやかり「withコロナ時代」に持続的な発展に結ぶための「旗揚げ」の年にしてまいりたいと存じます。

それでは、予算の規模からご説明申し上げます。

一般会計の総額は392億円で、前年度当初予算額に比べ、30億1,000万円、8.3パーセントの増であり、過去最大の規模となっております。

続きまして「第5次三島市総合計画」の6つの基本目標に沿いまして、主要な事務事業の概要を説明申し上げます。

まず、基本目標1「安全・安心に暮らせるまち」ではありますが、市民一人ひとりが、安全や環境問題に高い意識とシビックプライドを持ち、互いに支え合いながら、あらゆる自然災害、火災、交通事故、犯罪などから守られ、快適な生活環境のもとで、安心して心豊かに暮らすことができるまちを目指すものであります。

安全・安心への備えとしましては、近年多発している集中豪雨災害など、激甚化する災害に対し、一層の対応を図るため、消防団第3分団、沢地地区の消防ポンプ自動車を更新するほか、避難情報が発令され、対象地区に居住されている要配慮者及び付き添い者が市内宿泊施設を利用する際には、その費用を支援いたします。更に、自主防災組織の強化に向け、作成した防災マップや広報誌、ホームページ、出前講座などを通じて住民意識の啓発を図るとともに、各種講座や研修会による地域の防災リーダーの育成を行ってまいります。

大雨時の対策としまして、増水により大場川から都市下水路への逆流を防止するため、竹ノ下樋門ゲートの改築などを実施いたします。

昨年7月に熱海市伊豆山で発生した土砂災害につきましては、大きな被害を忘れることなく、本市にも急傾斜地がありますことから、土砂災害の未然防止に向け、適正な維持・管理を図るとともに県と連携し急傾斜地崩壊防止対策を実施してまいります。

地球温暖化対策の推進としましては、新たに策定した「第3次三島市環境基本計画」に基づき、ゼロカーボンシティを目指す中で、新規の取り組みとして、公共施設への太陽光発電設備導入について、設置可能な箇所や容量の調査及び各施設の電力自給率が最大となる容量の推計などを行いますほか、引き続き実施いたしますスマートハウス設備の設置に対する支援におきまして、新たな補助対象として、電気自動車から自宅への電気の流用が可能となるV2H充放電システムの導入を追加いたします。

また、中小企業者の省エネルギー改修及び再生可能エネルギー導入に対し、新たな補助制度により支援するなど、さらなる地球温暖化対策を推進いたします。

清掃センターにつきましては、新規最終処分場基本計画に基づき、最終処分場候補地の地質調査や用地測量などを実施いたします。

次に、基本目標2「健康で福祉が充実したまち」であります。充実した医

療、保健・福祉サービスを受けることができる環境のもと、安心して子どもを産み育て、誰もが生涯を通じて心身共に健康で自立した生活を送り、地域社会に積極的に参加し、活躍できるまちを目指すものであります。

スマートウエルネスみしまの推進では、市民の皆様が、健やかで幸せに暮らせるまちの実現のため、市民、企業及び各種団体などとの協働により、健幸マイレージ事業や健幸アンバサダー養成事業など各種事業を引き続き実施し、健康寿命の延伸に結んでまいります。

また、健幸施策に取り組んでいる43都道府県116の区市町村が参加している「スマートウエルネスシティ首長研究会」について、首長が集まる研究会を本市で開催し、三島のスマートウエルネスの取り組みを全国に発信する機会といたします。

母子保健では、保護者の育児不安や悩みを解消し、子どもの健全な育成を図るため、妊・産婦健康診査や乳児健康診査などの各種健康診査、妊婦相談や子どもの育ち相談会などの各種相談会を実施いたします。また、産前・産後の切れ目のない支援につきましては、産後ケアに新たに居宅訪問型サービスを加えるなど、さらなる充実を図ってまいります。

感染症予防対策といたしましては、子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨を再開するほか、新たに、高齢者が県外でインフルエンザや肺炎球菌ワクチンを接種した場合にも助成を行います。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、より綿密に医師会との連携を図る中で、3回目までの接種をスムーズに実施できるよう努めてまいります。

次に、新たな取り組みとして、未来を担う子どもの誕生を祝福するとともに、安心して産み育てられるよう出産祝金を、第1子に1万円、第2子に5万円、第3子以降に15万円支給いたします。

放課後児童クラブの整備といたしましては、現在2つの教室を一体で運用している北上放課後児童クラブをそれぞれ独立した児童クラブに分割整備し、受

け入れ可能児童数を拡大いたします。

スポーツの推進では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機としてスポーツ・運動に対する関心が高まっておりますことから、パラリンピック種目の体験会や体力測定会を行うスポーツデー、障がい者を対象としたボッチャ教室の開催、「巡回ラジオ体操」の誘致などを行うほか、新たに、スマホアプリやデジタルサイネージを活用し、スポーツ関連情報をはじめ様々な市政情報の発信も行ってまいります。

また、新規の取り組みとして、子どもたちのスポーツへの関心を高め、得意分野の発見を促すための能力測定会やダイバーシティ教育プログラムを実施する「スポーツみしまチャレンジキッズ育成事業」を支援いたします。

体育施設につきましては、安全で快適にご利用いただくため、市民温水プールの設備修繕などを実施するほか、引き続き市民体育館の大規模改修に向けた設計業務を行います。

続きまして、社会福祉施設の整備であります。高齢者が安心して暮らせるよう、「第8期介護保険事業計画」に基づく認知症対応型共同生活介護施設、小規模多機能型居宅介護施設、地域密着型特定施設入居者生活介護施設の整備を行う法人を支援いたします。

様々な問題を抱えている生活困窮者に対しましては、引き続き、専門相談員による就労などの相談支援を行い、関係機関とも連携する中で自立の促進を図ってまいります。

続いて、基本目標3「未来につなぐ人材を育むまち」であります。誰もが生涯を通じて学ぶことができる環境のもと、本市の誇る歴史や文化を大切に継承しつつ、新たに生み出される価値や視点を積極的に取り入れるとともに、GIGAスクール構想の実現による教育ICT環境の整備などにより、未来につなぐ人材を育むまちを目指すものであります。

義務教育のスタートとなる小学校1年生や特別な支援を必要とする児童・生

徒のほか、医療的ケアなどを必要とする児童を支援するため、看護師1名を増員し、看護師3名と介助員1名を含む58名の学校支援員を引き続き配置することで学びの場の充実を図ります。

小学校施設の整備では、児童の安全の確保と教育環境の整備、施設の長寿命化を図るため、向山小学校及び長伏小学校の改修工事を実施するほか、錦田小学校の2階ランチルーム及び3階廊下の天井について、落下防止対策工事を実施いたします。

また、南小学校、山田中学校へのエレベーター設置工事をはじめ、バリアフリー化改修修繕を実施し、ユニバーサルデザイン化を推進いたします。

小中学校の新型コロナウイルス感染症対策としては、手洗い場をタッチレス水栓化するなど、より一層、安全・安心に過ごせるよう学校環境を整備いたします。

「日本百名城」にも選定されている史跡山中城跡につきましては、長雨により崩落した堀の復旧工事を実施するほか、ガバメントクラウドファンディングを活用する中で維持管理に努め、後世へと引き継いでまいります。

クリエイティブシティの推進では、「三島市文化振興基本計画」における重点プロジェクトなどに基づき、市民の自主的・自発的な文化活動が活性化する仕組みの構築や、子ども達の創造性や想像力とコミュニケーション能力を育むクリエイティブ教育など、東京2020オリンピック・パラリンピック大会後の文化のレガシーとなる事業を実施いたします。

次に、基本目標4「交流とにぎわいのあるまち」であります。本市の特性や地域資源を生かしたまちに多様な交流が生まれ、産業が活性化し、人が生き生きと働き、活躍できるにぎわいのあるまちを目指し、withコロナ時代において、市内経済が「レジリエンス」を発揮できるよう支援に努めてまいります。

商工業の振興では、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、withコロナ時代に欠かせない非接触のキャッシュレス決済の更なる普及に向け、決済ア

プリの利用時にポイント還元を実施することで、個人消費の活発化と、中小事業者も含めた市内事業者の売上向上に寄与いたします。

観光の振興では、令和5年度からの5年間を計画期間とする「観光戦略アクションプラン」を策定するほか、落ち込んでいる観光需要を回復させるため、新しい生活様式に対応した事業を実施するとともに、新規事業となるツアーバスの誘客促進や観光客の滞在促進などを行ってまいります。

3年振りの開催となる「三嶋大祭り」に対しましては、例年より拡充して支援することにより、更なる伝統文化の継承や地域コミュニティの活性化を図るとともに、放送中の大河ドラマの人気も追い風として、例年以上の賑わいを創出し、観光・商業振興の促進を図ります。

次に、ブライダル需要の喚起では、新たな取り組みとしてカップルの挙式等を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている結婚式場等の援助につなげてまいります。

農業者への支援では、引き続き、経営が不安定な就農初期段階の新規就農者に対し、就農後の経営まで包括的に支援することで農業就業人口の増加を図るほか、新型コロナウイルス感染症の影響により販売に大きく影響を受けている野菜等の市内農家に対し、農畜産物の消費・販売を支援することにより経営継続と地産地消の推進につなげてまいります。

スマート農業の推進では、中郷地区において、ICTやデジタル機器を活用した水田水管理システム設置にかかる事業費の一部を負担し、労働の省力化を実証してまいります。

企業誘致の推進では、引き続き積極的な誘致を行い、税金や雇用の確保につなげるとともに、新たな産業用地を創出するため、可能性調査により絞り込んだ候補地について基本調査を実施いたします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により働き方改革が一層促進され、オフィスの分散化や地方移転、テレワークの導入など働く場所や働き方が多様化する中、サテライトオフィス等を新たに市内に開設するIT企業などに対し、

経費の一部を支援することで積極的に誘致を進めてまいります。

続いて、基本目標5「快適で暮らしやすいまち」ではありますが、せせらぎや緑などの自然と歴史・文化が感じられるまちに更なる活気と魅力が生まれ、生活を支える都市基盤が整備された快適で暮らしやすいまちを目指すものであります。

土地政策の推進では、東駿河湾環状道路の開通により交通の利便性が飛躍的に向上した大場地区において、県立三島南高等学校南側の約10ヘクタールの農地と周辺の土地利用について、コロナ禍がもたらしたビジネスモデルやライフスタイルなどの変革を転機と捉え、都市的土地利用への転換を本格的に進めてまいります。雇用の創出や新たな税収の確保、人口増加など、大場地域の都市的整備を図ることにより、本市の持続的な発展につながる重要施策として、早期事業化を強力に促進していくこととし、令和4年度は、基礎調査や地元組織の設立・運営支援、基本構想の作成等を実施してまいります。

また、「ふじのくにフロンティア推進区域」の玉沢地区において、医療・健康関連産業の企業誘致の実現に向け、事業用地の売却手続きを進めてまいります。

三島駅南口東街区再開発につきましては、事業効果などの調査や、引き続き市民の皆様のご意見を伺いつつ、事業関係者と連携した導入機能の検討などを実施するとともに、地下水・湧水の保全のために地下水のモニタリング調査を継続し、調査結果や建築計画案を地下水対策検討委員会で確認してまいります。また、「市街地再開発事業費補助金」として、市街地再開発組合が実施する実施設計や権利変換計画作成などの費用を支援いたします。

そのほか再開発事業に合わせ、引き続き三島駅南口広場の交通結節点としての利用環境改善の検討を行います。また、令和3年度に景観重点整備地区に指定した「一番町三島駅前通り地区」内の愛染院跡溶岩塚周辺を、にぎわい創出空間として利活用するための可能性調査を実施いたします。

市道の整備としましては、錦田大場線道路改良事業で、桜ヶ丘幼稚園から町田橋までの工区について用地取得及び道路改良工事を進め、通学する児童たちの安全確保を図るほか、西間門新谷線建設事業、文教町幸原線道路改良事業についても計画に沿って進捗してまいります。また、歩道や橋梁の点検、一般市道の維持修繕を通じて市民の皆様が安全で快適にご利用いただけるよう努めてまいります。

街路の整備としましては、三島駅北口線建設事業で、現在実施している工事区間の令和4年度の整備完了に向け、道路改良工事及び先行取得用地の買戻しを実施するほか、次期工区について道路予備設計を行います。また、下土狩文教線建設事業では、歩道改良工事及び先行取得用地の買戻しを実施し、令和6年度の整備完了を目指してまいります。

交通対策としましては、地域の実情に合った交通サービスを維持するとともに市民の皆様が、より利用しやすいよう、自主運行バスについて、利用者のニーズに合った路線の見直しを図り運行するほか、新規路線としてバスとジャンボタクシーを併用した「花のまち号（東大場分譲地）」、デマンドタクシーによる「山田・小沢線」をスタートいたします。また、日清プラザ・イトーヨーカドーにある循環バス「せせらぎ号」の停留所については更なる安全性の確保及び利便性向上のため県道三島裾野線に停留所を移設整備いたします。

地域公共交通網の形成では、「三島市地域公共交通網形成計画」の計画期間が令和4年度に終了するため、令和2年度の法改正を反映した「三島市地域公共交通計画」を「三島市地域公共交通網形成協議会」において策定するための経費を負担いたします。

移住・定住への取り組みでは、「移住・子育てリフォーム事業費補助金」で、子育て世帯や県外から移住される方に対し、住宅のリフォームにかかる費用として、最大25万円を支援するほか、「住むなら三島移住サポート事業費補助金」で、県外から住宅を取得して移住してくる若い世帯や県内の他市町から市内の親との近居・同居のために転入する若い世帯に対し、住宅取得費用として、

最大100万円を支援いたします。

また、国や県などと協力し、東京圏からの移住者を増やすため、県内企業への就職又はテレワークの実施により市内に移住する方を「移住就業支援補助金」により支援いたします。

公営住宅の整備では、市営住宅の安全で快適な住まいを継続的に確保するため、「三島市公営住宅等長寿命化計画」に基づき藤代住宅B棟建設に向けた設計や各種調査を行うほか既存のN・S棟の解体工事を実施します。

公園内施設の整備では、地域の皆様が安全に安心して利用できる公園づくりのため、「三島市公園施設緊急三カ年整備計画」に基づき老朽化した施設及び遊具の修繕、更新を重点的に行ってまいります。

「ガーデンシティみしま」の取り組みでは、立体花飾りの維持管理を市民ボランティアと協働で行うほか、市民向け講座の実施などを通じて、更なる充実を図ってまいります。また、一番町の無電柱化事業に合わせて設置予定の照明灯花飾りに必要な散水施設を設置するなど、一層の賑わい創出に努めてまいります。

最後に、基本目標6「共に創る持続的に発展するまち」ではありますが、市民や民間事業者、行政などが共に価値を創造し、主体的かつ積極的にまちづくりに取り組み、人口減少社会に対応した満足度の高い行政サービスが提供され、持続的に発展するまちを目指すものであります。

地域づくり市民会議では、地域の課題を地域で考え、話し合いで解決するための「地域コミュニティ協議会」が組織されている、西小学校区及び東小学校区の取り組みを支援し、その取り組みを広く発信していくことでシビックプライドの高い、住民主体の地域づくりを推進いたしますほか、「Well-being」の視点を取り入れ「幸福」をキーワードとした地域づくりについて市民の皆様と共に考える機会を創出します。

地域戦略事業では、新たな取り組みとしてeスポーツ関連のイベントを開催

するなど交流の場や機会を提供することにより地域と多様に関わる人材である「関係人口」を創出し、地域内外の人材を巻き込んだ地域づくりを推進いたします。

スマート市役所の推進では、「三島市スマート市役所宣言」に基づきデジタルファーストによる便利で質の高い市民サービスの提供、生産性の高い行政運営、産業の活性化や産官学民が連携したまちづくりを推進してまいります。

まず、市民サービスの向上としては、窓口業務のデジタル化、キャッシュレス化による利便性の向上と非接触の実現や、公式LINEを利用した各種予約、イベントの申し込み、ニーズを捉えた情報提供を行ってまいります。

また、行政運営の改善としては、AIやRPAを活用した、問い合わせへの自動応答や業務の自動化、テレワークやビジネスチャットの活用による働き方改革の推進、ノンプログラミングでの簡単な業務アプリの開発環境を整備するなど、業務の効率化とデジタル人材の育成を図ります。

そのほか、スマートシティの推進を図るため、ICTを活用した実証事業を市民や企業と連携して実施していくことなどによりスマートシティ実現に向けた風土づくりを推進してまいります。

併せて、ICTに関する豊富な知識や経験を持つ外部人材を登用することで、民間企業の持つ柔軟な発想や創意工夫を取り入れ、本市のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を加速させてまいります。

電子申請運営では、「自治体DX推進計画」で示されている、特に市民の皆様の利便性向上につながる26の手続きを中心にマイナンバーカードを用いたオンライン手続きを可能にするほか、汎用電子申請システムも利用しオンラインでの申請を可能とする手続きを拡充してまいります。併せて、行政事務をデジタル化するため申請管理システムを導入し、業務の自動化や効率化を図り、迅速・正確なサービス提供による市民の利便性向上と、市役所の業務改革を進めてまいります。

次に、特別会計についてご説明いたします。

国民健康保険特別会計など、7つの特別会計の予算総額は292億461万9千円となっており、前年度当初予算額に比べ、5億7,724万1千円、2.0パーセントの増となっております。

それでは、主な特別会計について説明申し上げます。

まず、国民健康保険特別会計であります。

被保険者に対する適正な保険給付等を行う中、特定健康診査や特定保健指導などをコロナ禍による動向を考慮しつつ引き続き推進することにより「スマートウェルネスみしま」の理念である市民の皆様の生涯を通じた健康の保持と、生き生きとした暮らしの実現に貢献し、併せて医療費の削減につなげてまいりますほか、「静岡県国民健康保険運営方針」に則り、県内他市町と歩調を合わせながら各種事業の平準化・標準化、事務の効率化等を進めてまいります。

次に、介護保険特別会計であります。

急速に進む高齢社会において、地域に生きる一人ひとりが尊重され、多様なかたちで社会とつながり参画できる「地域共生社会」の実現に向け、地域包括ケア体制の更なる深化、推進が必要となってきます。

こうしたなか、「第8期三島市介護保険事業計画」のもと、要支援・要介護認定者が、住み慣れた地域で安心して介護保険サービスを受けられるよう、サービスの質の向上と量の確保に努めますとともに、地域包括支援センターによる相談支援を充実するほか、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み・チームオレンジを整備し、「共生」の地域づくりを推進いたします。

また、コロナ禍においても実施可能であるオンラインを活用した運動教室や、SNSなどの講座を開催し、高齢者の介護予防や人とのつながり、居場所・サロンなどの活動の支援を推進します。

次に、水道事業会計であります。

水道施設の適切な更新・耐震化を推進していくため、「三島市水道事業経営戦略」の施設整備計画に基づき、漏水や赤水等の原因となる老朽管の布設替工事を実施していくほか、山中新田地区の水量不足を解消するための山中新田簡易水道第2取水場の建設や、南海トラフ地震などの大規模災害に備えるため、伊豆島田浄水場と中区配水場をつなぐ最重要の基幹管路の更新・更生工事に着手していきます。

最後に、下水道事業会計であります。

令和2年度が開始年度であります「三島市下水道事業経営戦略」に基づき、計画的な管路や施設の改築・更新及び効率的な維持管理に努めてまいります。

以上、令和4年度の一般会計、特別会計の予算案につきまして、大要を申し上げます。

皆様とともに「協働」で取り組み、深く浸透いたしました「ガーデンシティみしま」「スマートウエルネスみしま」「コミュニティづくり」をまちづくりのベースとしつつ、デジタル化の急速な進展など、目まぐるしく変化する社会経済情勢に的確に対応し、持続的発展に向け新たな価値観も取り入れ挑んでいくという決意を盛り込みましたこの予算を、私は「withコロナ時代にさらに輝く三島の未来創造型予算」と考えております。

チーム三島一丸となり、全力で取り組む所存でございますので、今後とも、議員の皆様並びに市民の皆様のご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

よろしくご審議のうえ、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。